



2020年11月20日  
日本コンサルタンツ株式会社

## 「インドネシア ジャカルタ MRT 南北線 運営維持管理 コンサルティングサービス 2nd stage (OMCS2)」の受注・契約について

日本コンサルタンツ株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：中井雅彦、以下「JIC」）は、日本工営株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：有元龍一、以下「NK」）とともに、ジャカルタ地下鉄公社（PT. Mass Rapid Transit Jakarta）より、インドネシア ジャカルタ MRT 南北線（\*1）運営維持管理 コンサルティングサービス 2nd stage (OMCS2: Operation and Maintenance Consulting Services 2nd Stage) を共同で受注し、2020年10月27日に同社と契約を締結しました。

インドネシアのジャカルタ首都圏における慢性的な交通渋滞の緩和を目的とした MRT 南北線は、官民が一体となって推進している日本の鉄道システムの一体的な輸出の第1号として建設されました。当社は、開業に向けた建設事業の施工監理に鉄道システムと車両の分野で参画するとともに、日本が世界に誇る鉄道サービスの根幹である鉄道運営維持管理に係る開業準備および開業後の支援に従事してまいりました。同鉄道は2019年3月の開業以来、1年以上経った現在も大きなトラブルなく運行しております。

このたび、同鉄道の改善活動の定着および鉄道車両のヘビーメンテナンス（\*2）の実施に向けた指導等、自律的に運営を行っていくための運営維持管理ノウハウを提供すべく、同社よりコンサルティングサービスを受注・契約しました。今後、新型コロナウイルスの情勢も踏まえつつ、2021年1月（予定）以降、事業を開始します。

本プロジェクトは日本の円借款による事業で、日本工営株式会社と共同企業体を組み、実施します。また、推進にあたっては東日本旅客鉄道株式会社（本社：東京都渋谷区）、東京地下鉄株式会社（本社：東京都台東区）、JR 東日本テクノロジー株式会社（本社：東京都新宿区）と、インドネシア企業1社の協力を得て進めてまいります。

### \*1 ジャカルタ MRT 南北線

ジャカルタ中心部を南北に縦断し、インドネシア国鉄の一大ターミナルであるコタ (Kota) 地区から南下してジャカルタ中心部のブロック (Blok) M 地区を経て郊外のルバックブルス (Lebak Bulus) までを結ぶ延長 23.8km に及ぶ路線計画。フェーズ 1 区間としてブンダランハイ (Bundaran HI) ～ルバックブルス間 15.7km が 2019年3月に開業した。現在、フェーズ 2 として延長区間の建設を進めている。当社は、同区間の施工監理にも共同企業体の一員としてコンサルティング業務に参画している。

\*2 ヘビーメンテナンス

電車の定期検査のうち、主に編成状態で車両各部の動作確認、機能検査、消耗品交換などを行うものをライトメンテナンスと呼ぶのに対し、主要部分を車両から取り外し、重点的な検査や部品交換を伴うものをヘビーメンテナンスと呼ぶ。定期検査は、走行距離や日数に応じて検査周期が定められており、ライトメンテナンスは短い周期で頻繁に行われるのに対し、ヘビーメンテナンスは長い周期で行われ、実施には一定期間、その車両を営業運転から外す必要がある。

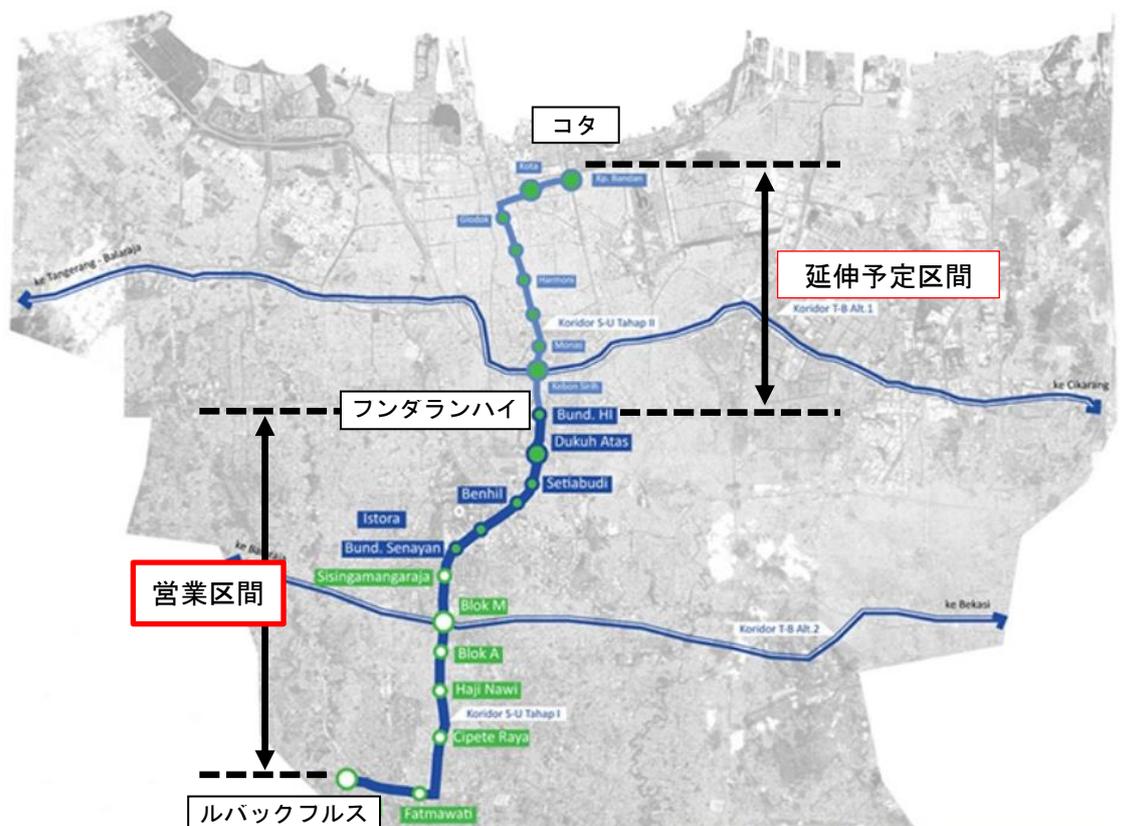
本件プレスリリースは、ときわクラブ、丸の内記者クラブ、JR 記者クラブ、国土交通記者会にお届けしています。

**【お問い合わせ先】**

日本コンサルタント株式会社 総務部 03-6269-9878

<プロジェクト概要>

- (1) 事業名： ジャカルタ MRT 南北線  
運営維持管理 コンサルティングサービス 2nd stage (OMCS2)
- (2) 事業概要： 開業後の運営維持管理支援  
車両ヘビーメンテナンス指導
- (3) 実施期間： 2021年1月～2024年1月 ※2020年11月時点想定
- (4) 路線図



(出典：PT. Mass Rapid Transit Jakarta HP)